

「感動の共有を！」

ついこの前までは、妻のお腹を中から蹴飛ばしていた胎児で、立ち会い出産の日から、赤ちゃんになって、這えば立て、立てば歩めで、かわいい理屈を言うようになり、いつのまにやらコマ無し自転車に乗ることができるようになり・・・子ども達の日々の成長は、親にとって、まさに感動の連続です。

殺伐とした世相だからこそ、芥川龍之介の『河童』ならずとも、よくぞ今のこの時代に生まれてきてくれたと、親ならば誰も、子ども達が愛おしくもあります。

幼稚園は、そんな大切な私達の子ども達の人生で最初の舞台です。だからこそ、幼稚園を取り巻く様々な環境をより良くしたい、それがPTA活動の根幹の思いです。

親にとっても、PTAデビューですが、例えば、先生方はもちろん、地域や小学校・中学校としっかり連携を図る、単マ、ブロック、市幼マ連がしっかりと情報交換し、行政・警察とも、良好な関係を結ぶことも必要になってきます。

こうした一連のPTA活動を通じて、親は親として成長できるのかな、その頑張りが子ども達に、きっとフィードバックされるのだろう、と思います。親・子が育つ実感を、その感動を、是非、一人でも多くのPTAの皆様と共有したいと思えます。まずは楽しみながら。

前年度の思いを引き継ぎ、1年かけて、少しでも我々なりに前に進めて、バトンを次年度に引き継ぐ。そんな実りある一年にしましょう！